令和7年度 調布市立深大寺小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標

よく考えすすんで学ぶ子 健康で明るい子 やさしく思いやりのある子 ねばり強くやりぬく子

目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像

【ごきげんな学校】

- (1) 児童にとって 「喜びのある毎日が送れる安全で安心な学校」
- ・友達と関わることのできる喜び
 - ・学んで分かる喜び
 - ・心を解放して体を動かす喜び
 - ・自分の存在が認められる喜び
 - ・自分の成長が実感できる喜び
 - ・自分の将来に希望がもてる喜び
- (2) 保護者, 地域にとって 「誇りに思える私たちの学校」
- ・よく見える学校→教育活動の積極的な発信
 - ・安心できる学校→素早く, 丁寧で誠実な対応
 - ・私たちの学校→連携, 協働の取組
- (3) 教職員にとって「子供の成長を喜び合える学校」
- ・風通しのよい明るい学校
 - ・やりたいことができる学校
 - ・成長できる学校

ビジョンの設定理由
(本校の現状と課題)

- 魅力ある学校づくりアンケートの結果によると, 与えられたことには取り組むが, 主体的に取り組むことや, 自分の意見を表現すること, 自らすすんで行動することが苦手である。児童が自分のよさに気づき, 自分のよさを生かすことができるよう, 環境を整え, 活力に満ちた学校にすることが課題である。
- 不登校及び不登校傾向のある児童が一定数いる。家庭, SC, 関係機関と連携した組織的な対応を進めること, また, コミュニティ・スクール初年度として, 「地域とともにある学校」づくりの体制を整えることが課題である。
- 教科担任制, 学年担任制を生かし, 校内研究やOJTを通して, 教員の指導力を向上させること。また, 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を行うことが課題である。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における人との関わりの中で伝え合う力。 ・言葉がもつよさを認識し, 言語感覚を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いをもつことを大切に, 相手に分かりやすく表現できるような場を設定し対話的な学びを実現する。 ・読書活動を充実させたり, 文の型を示したりして語句の量を増やし, 話や文章の中で使うとともに, 語彙が豊かになるよう指導を工夫する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に課題を見付け, 対話的に学び問題解決していく能力。 ・児童が社会認識をより深め, 社会参画への意識を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入時に資料の提示の仕方を工夫することで主体的に思考できるようにし, 自分たちが設定した学習問題に対して解決していくための見通しをもった単元計画を立てる。 ・自分たちが暮らしている深大寺という地域の特色を生かした学習を各単元に取り入れていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や図, 数式を使って自分の考えを表現し, 説明できる力。 ・基礎的・基本的な事項の定着と, 自己の課題を見出して問題を解決する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用や, 具体物・半具体物, 体験学習など実感を伴った学習の工夫をする。 ・習熟度別少人数指導の実施や, 実態に合った教材, 教具の工夫, 課題の精選, タブレット端末を活用した反復練習などにより, きめ細やかな指導をする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を見だし, 解決方法を発想するとともに自分の考えを伝え合い, 感じたことを表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が自分の考えをもつことで観察や実験を充実させ, 生活経験と結び付けたり, 比較したりする視点を与えることで, 問題を見だし, 予想や仮説を立てさせる。 ・タブレット端末を利用し自分なりの予想や問題解決方法, 感じたことを表現できるような場を増やす。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然や地域に関わる活動を通して, そこから得た様々な気づきを工夫して表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人々, 社会, 自然と関わる中での体験や調べたこと等を伝え合う場を設定する。 ・友達の考えと自分の情報とを比べ, 意味を考えたり, 新たな気づきを得たりできるようにする。

<p>音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協働して創りあげる能力。 ・日本の伝統音楽を親しむ心。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いのよさを認め合う活動や思いをもたせる場面を多く設定する。 ・お囃子づくりや和楽器に触れる機会を設定し、体験を通してそのよさを感じ取らせる。
<p>図画工作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的な見方、考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質や能力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の児童が個性を生かした活動ができるようにする為、学習活動や表現方法、鑑賞の場面設定等に多様な選択肢を用意する。 ・児童が、自分や友達、身近な作品などの良さを感じ、感性を高められるように、自分の思いをもつことを大切にすると共に、表現活動と鑑賞活動の一体化を図る。
<p>家庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中から問題を見いだし、課題を設定し、実践を通して課題を解決する力。 ・家庭や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な知識や技能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習過程をスモールステップで構成し、基礎的な知識・技能の習得を個々の作業につなげる。 ・習得した内容等を家庭や地域で実践につなげる力を引き出すために、思考・判断力を広げるワークシートや資料、技能の向上に役立つ体験的な教材を作成する。
<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や健康についての自己の課題を見付け、その課題に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入時にその学習のねらいや流れの見通しをもたせ、運動の特性から、個人やグループの課題（目標・活動内容）をもち、その課題を解決していく学習を基本とする。 ・各単元において振り返りの時間を設定する。友達との学び合いの中から課題解決につながる学習計画を立てる。
<p>外国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「読むこと」、「書くこと」の言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の文字や単語などの認識、日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴を気付かせ異文化に対する理解を深める。 ・自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に書くことができるようにする。
<p>道徳科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・喜びのある毎日が送れるよう、自己の生き方を考え、行動する力。 ・郷土の伝統と文化を大切に、郷土を愛する心をもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考え方や感じ方を明確にするとともに、多様な考え方や感じ方と出会い交流する活動を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 ・日々の生活の中で、郷土とのつながりを意識させていく。
<p>外国語活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」の音声面を中心とした外国語を用いてコミュニケーションを図る素地となる資質・能力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な語句や基本的な表現を十分に音声で慣れ親しませる。 ・チャンツやゲーム的な活動を通して外国語に親しみながら、コミュニケーションを図ろうとする。